

外国人が袋井で安心して暮らすために 生活に関わる制度やルールのオリエンテーション動画10本を 5カ国語で作成

- 本市の外国人人口は、4月1日現在4,798人で、5年前の平成27年4月1日時点の3,033人と比較すると約1.6倍に増加。
- 外国人にとって、日本の税や保険、年金などの制度やごみの分別や出し方の地域のルールは、母国にないこともあり理解が難しい。
- このため、生活に関わる10テーマについて、各々約3～5分の動画を作成。説明は、ポイントやメリットに絞り、文字情報を極力減らしてイラストで表現。
- 市役所窓口での手続きの際に、タブレット端末で視聴してもらい、制度等の理解を促す。YouTubeの市の公式チャンネルからも視聴が可能で、事業所での活用もねらう。

1 テーマ

- (1) 転入・転居・転出の手続き（在留カード手続き含む）
- (2) マイナンバー制度
- (3) 健康保険制度
- (4) 介護保険制度
- (5) 国民年金制度
- (6) 乳幼児健診・子育て相談・予防接種
- (7) 児童手当・子ども医療費助成制度
- (8) ゴみの分別方法・ゴミの出し方
- (9) 税金
- (10) 小学校・中学校

2 対応言語

ポルトガル語・ベトナム語・中国語・英語・日本語の5カ国語

- ※ 外国語は、市内の外国籍人口の多い順に選定
- ※ 日本語版は、事業所の担当向けに作成

オリエンテーション動画の内容（抜粋）

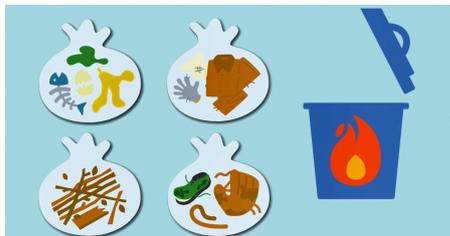
ゴミの分別・出し方



音声>日本では、ゴミを種類に分けて集めます。



音声>メリット！
分けて集めることで、ゴミがリサイクルされ、環境を守ることができます。ルールを守ることで地域の人といい関係をつくることができ、住みやすくなります。



音声>「燃やせるゴミ」は、例えば、台所から出るゴミ、汚れた紙、布のゴミ、木製のゴミ、革製品、プラマークのないプラスチックゴミなどです。



音声>燃やせるゴミは、お店で売っている「袋井市指定のゴミ袋」に入れます。この袋に入れないと集めてもらえません。

小学校・中学校



音声>日本では、7歳になる年で小学校に入学して6年間学びます。その後、中学校へ入学して3年間学びます。



音声>メリット！
外国人も小学校・中学校で教育を受けられます。



音声>公立の小学校・中学校では、授業料は無料です。しかし、給食費、制服、かばん、筆記用具、ノートなどは無料ではありません。



音声>袋井市では、外国人の子どもが小学校・中学校へ通い始めると12週間の「初期支援」を受けることができます。「初期支援」では、日本語や日本の学校のことを学びます。